



ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変わりめの中で健康で快適に過ごせるようにする。 ・簡単な身の周りのことを少しずつ自分でしようとする。 ・戸外で体を十分に動かして遊びながら、秋の自然に触れる。 	行事	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科検診 ・避難訓練 ・運動会予行 <p>長時間保育</p>	家庭連携	自己評価	
今月の内容(養護・教育)		環境構成		配慮事項		取り組みの状況と保育士の振り返り
<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の欲求を受けとめ、自分の思いを安心して表せるようする。 ・気温差に留意し適切に水分補給をしながら、健康で快適に過ごせるようにする。 ・少しずつ自分でズボンや靴、靴下を着脱しようとする。 ・戸外で体を動かして遊びながら、秋の自然に触れて楽しむ。 ・保育者の言葉を真似たり、問いかけに応えたりして言葉のやりとりを楽しむ。 ・友だちと一緒に歌をうたったり、曲に合わせて踊ったりして楽しむ。 ・さつまいもやきのこなどの季節の食材に親しみを持ちながら楽しく食事をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気持ちに沿ってゆったりと関わるようにする。 ・温湿度によって風通しをよくするなどの調節や活動に伴う十分な水分を用意する。 ・ズボンや靴など履きやすいよう向きを整えたり、見本を見せたりする。 ・木の実や生き物の触れられる場所に行き、子どもが興味を向けられるよう、さりげなく援助する。 ・子どもの好きな絵本や興味を引く教材を用意する。 ・季節の歌や踊りの音源を用意する。 ・歌や製作などで季節の野菜などの素材を用意する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・表情や手振り、指差しなどを丁寧に汲み取り、子どもの思いに共感していく。 ・子どもの様子によって衣服を調節し、活動中はタイミングよく水分補給をしていく。 ・楽しい雰囲気の中で子どもが自分で行いたいという気持ちになるよう働きかける。 ・安全に配慮しながら、保育者も一緒に体を動かしたり、自然に触れたりする。 ・子どもの話したい気持ちを丁寧に汲み取り、時には言葉を添えて発達を育む。 ・安全でゆったりとした環境を用意し、のびのびと歌ったり踊ったりして楽しめるようにする。 ・さつまいもの手遊びをしたり、制作の導入で野菜の話をするなどイメージを持ちながら親しみを持てるよう働きかける。 		<p>表情や手振り、簡単な言葉により、思いが通じて、信頼関係の深まりを感じる。気温差に応じて温度調節をしたり、衣服の調節をしたり、水分補給をして快適に過ごす。排泄に伴い、楽しい雰囲気の中で少しずつ自分で着脱をする児が増え、褒めながら意欲を高めている。心地よい気候の中で友だちと手を繋ぎ散歩を楽しみ、秋の自然に多く触れることができた。遊びや絵本などを通して友だちや保育者との言葉のやりとりが多い。保育者や友だちと一緒に元気に歌ったり踊ったりしている。今後も自己を表現をする喜びを味わえるよう援助していく。戸外遊びで体を動かし、食欲が増している。絵本やシアターを通して、食材に親しみを持ち楽しく食事をしていく。</p>